

# 北電 来月 39% 値上げ

## 規制料金再申請 45% から 圧縮

北陸電力(富山市)は十六日、家庭向けを含む「規制料金」で平均39.7%の値上げを経済産業相に再申請したと発表した。国の認可を経て六月一日に実施する。標準的な家庭の場合、月額で二千五百円余り高くなる。規制料金の値上げはオイルショックのおおりに受けた一九八〇(昭和五十五)年四月以来、四十二年ぶりとなる。●核心●面、論説●面、関連●面 (高本啓平)

### 標準家庭 月2548円増

値上げは、家庭向けの顧客百万件のうち、五十万件が対象。契約数が多い標準家庭(月間使用量二百三十発時)の月額料金は、現行より二千五百四十八円(41%)高い八千七百四十

八円となる見込み。政府の負担軽減策を加味すると、六月分の料金は実質的に五百八十六円増の六千七百八十六円となる。

#### 北陸電力の標準家庭向け規制料金(月額)のモデルケース

	現行料金	今回の申請料金	値上げ率(%)
従量電灯B	6,200円	8,748円	2,548円 (+41%)

※月間使用量は230発時

請。今年四月に送配電網の利用料金「託送料金」が引き上げられたのに伴い増収となり、平均値上げ率を下げた43・40%にしていた。一方、国が家計負担の軽減を求めており、燃料の調達単価や他の事業者への電力販売価格を見直し、設備の修繕費を含むコストを削減した。今回、3・71%引き下げる形となった。

北電は二〇二三年三月期連結純損益が八百八十四億円の赤字(前期は六十七億円の赤字)と、過去最大の赤字を計上。四月一日にオール電化家庭や企業向けを含む「自由料金」も値上げしており、規制料金の改定も合わせて売上高ベースで年間一千億円程度の収支改

善効果を見込んでいる。本店で記者会見した長高英常務執行役員営業本部長は「大変厳しい査定幅だが、引き続き経営の効率化に努める」と説明。再度の

値上げの可能性については「化石燃料の価格は大幅に上がる動きは見られない。現状の推移であれば値上げは考えていない」と述べた。